

学区の概要

(1) 位置

▲東経140度20分

▲北緯38度13分

▲標高175.8m

(2) 概要

滝山学区は、山形市の東南部、瀧山の山麓にひろがる集落で、かつては瀧山を水源とする同一水系によって灌漑されている農村地域であった。

昭和40年代以降は、山形市の住宅地域となり、多数の入居者を迎え、児童数は急激に増加した。そのため、昭和49年には、当学区であった青田地区に「山形市立南小学校」が開設され、国道13号線の西側の大部分は新設小学校の学区となった。

また、山間部は奥羽山系レクリエーション基地事業の一貫として「西蔵王公園」の建設が進められ東沢と蔵王温泉を結ぶ「西蔵王高原ライン」が完成し、「山形市野草園」「悠創の丘」等の自然公園として整備が進められた。

近年、学校の北東部周辺の宅地化が進み、住宅の建築も盛んで学校周辺の様子も変わってきている。

平成4年度に、上桜田に「東北芸術工科大学」が開校し、周辺地域は大きな変貌を見せている。

なお「神野」「土坂」地区の冬季分校もバス交通が可能になり、昭和58年度をもって廃校となった。

地域住民は、学校の歴史と伝統に誇りと愛着を持ち、教育への関心も強い。特に、子ども会育成会の活動やスポーツ少年団の活動は、めざましいものがある。

平成22年度には、創立120周年を迎え、記念式典等の記念事業を行った。

(3) 学区略図

